



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月31日

上場会社名 株式会社イーグランド 上場取引所 東
コード番号 3294 URL <https://e-grand.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 光司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 白惣 考史 TEL 03-3518-9779
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	6,955	37.1	361	479.0	315	－	216	－
2025年3月期第1四半期	5,072	△17.0	62	△82.9	14	△95.5	7	△96.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	35.59	35.12
2025年3月期第1四半期	1.16	1.14

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	34,825	11,460	32.8
2025年3月期	31,285	11,493	36.6

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 11,422百万円 2025年3月期 11,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	－	41.00	－	41.00	82.00
2026年3月期	－				
2026年3月期（予想）		42.00	－	42.00	84.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	17,400	27.5	800	19.8	650	17.4	450	17.9	73.85
通期	38,700	26.9	2,300	54.6	1,950	57.4	1,350	53.4	221.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	6,379,100株	2025年3月期	6,379,100株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	285,680株	2025年3月期	285,660株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	6,093,435株	2025年3月期1Q	6,078,276株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費や設備投資に緩やかな回復基調が見られました。一方で、エネルギー価格や建設資材価格の高止まり、為替変動や金利環境、関税リスクなどにより、依然として先行きには不透明感が残る状況であります。

当社が属する中古住宅流通市場におきましては、公益財団法人東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によると、2025年6月度の首都圏中古マンションの成約件数は4,299件（前年同月比31.9%増）と8ヶ月連続で前年同月を上回っており、成約価格も5,209万円（同5.1%増）と引き続き上昇傾向にあります。

このような市場環境の下、当社の仕入活動につきましては、これまで手薄であった東京23区内の比較的単価の高い物件の取扱いを強化する方針を採っております。この方針が奏功し、当第1四半期累計期間における居住用物件の仕入件数は262件（前年同四半期比48.0%増）となりました。

販売活動におきましては、東京エリアと地方支店の販売が順調に伸びた結果、当第1四半期累計期間における居住用物件の販売件数は234件（前年同四半期比18.2%増）となりました。販売単価は、東京23区内を中心とした高単価物件の販売が増加したことで、29,061千円（同17.1%増）となりました。なお、当該期間における収益用物件の売却はありませんでした。

利益面につきましては、前事業年度において長期保有物件の値下げ販売により売上総利益率が14.0%と低調であった一方、在庫の入れ替えが進んだことにより、当第1四半期累計期間の売上総利益率は16.6%と大きく改善しました。販売件数および単価の上昇も寄与し、売上総利益をはじめとする各段階利益は大幅に増加しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は6,955百万円（前年同四半期比37.1%増）、営業利益は361百万円（同479.0%増）、経常利益は315百万円（同2,136.4%増）、四半期純利益は216百万円（同2,981.5%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

<中古住宅再生事業>

中古住宅再生事業におきましては、居住用物件の販売による売上が6,800百万円、収益用物件の保有期間中の賃貸収入が134百万円となりました。その結果、当第1四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は6,935百万円（前年同四半期比37.2%増）となりました。

<その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産の賃貸収入等により、当第1四半期累計期間におけるその他不動産事業の売上高は20百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は、32,713百万円となり、前事業年度末の29,192百万円から3,521百万円の増加となりました。これは主に、販売用不動産が758百万円、仕掛販売用不動産が3,469百万円増加した一方で、現金及び預金が955百万円減少したことによりです。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、2,112百万円となり、前事業年度末の2,092百万円から19百万円の増加となりました。これは主に、投資その他の資産が30百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間末における流動負債は、11,707百万円となり、前事業年度末の9,980百万円から1,727百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が126百万円、短期借入金が1,448百万円、1年内返済予定の長期借入金が95百万円、未払法人税等が22百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間末における固定負債は、11,657百万円となり、前事業年度末の9,811百万円から1,846百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が1,819百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間末における純資産は、11,460百万円となり、前事業年度末の11,493百万円から33百万円の減少となりました。これは、利益剰余金が32百万円減少したことによりです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（2026年3月期）の通期業績予想につきましては、2025年5月12日公表の「2025年3月期 決算短信」のとおりであります。事業活動に大きな影響が出る事象が発生した場合には、速やかに業績見通しの修正開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,254,458	6,298,997
販売用不動産	15,998,931	16,757,369
仕掛販売用不動産	5,233,058	8,702,406
貯蔵品	1,552	1,126
その他	704,544	953,470
貸倒引当金	△324	△61
流動資産合計	29,192,220	32,713,309
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	1,645,114	1,634,264
有形固定資産合計	1,645,114	1,634,264
無形固定資産	97	67
投資その他の資産		
その他	448,447	479,191
貸倒引当金	△662	△964
投資その他の資産合計	447,785	478,227
固定資産合計	2,092,997	2,112,559
資産合計	31,285,218	34,825,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,583	661,487
短期借入金	8,071,348	9,519,410
1年内返済予定の長期借入金	916,293	1,012,175
未払法人税等	78,439	100,554
賞与引当金	-	53,224
完成工事補償引当金	14,238	15,113
その他	365,272	345,381
流動負債合計	9,980,175	11,707,347
固定負債		
長期借入金	9,681,344	11,501,233
役員退職慰労引当金	57,749	57,749
その他	72,134	98,738
固定負債合計	9,811,227	11,657,720
負債合計	19,791,402	23,365,067

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	836,528	836,528
資本剰余金	835,891	835,891
利益剰余金	10,175,848	10,142,865
自己株式	△392,265	△392,295
株主資本合計	11,456,002	11,422,989
新株予約権	37,812	37,812
純資産合計	11,493,815	11,460,801
負債純資産合計	31,285,218	34,825,868

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,072,247	6,955,266
売上原価	4,378,348	5,803,439
売上総利益	693,898	1,151,827
販売費及び一般管理費	631,399	789,929
営業利益	62,499	361,897
営業外収益		
受取利息	135	467
受取配当金	761	761
契約収入	3,290	34,790
助成金収入	400	1,415
その他	146	690
営業外収益合計	4,733	38,124
営業外費用		
支払利息	48,443	78,925
支払手数料	4,700	6,029
その他	0	0
営業外費用合計	53,145	84,954
経常利益	14,088	315,067
税引前四半期純利益	14,088	315,067
法人税、住民税及び事業税	1,673	90,281
法人税等調整額	5,377	7,937
法人税等合計	7,051	98,219
四半期純利益	7,037	216,848

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	6,617千円	10,829千円